



# 近つ飛鳥

令和6年9月24日  
学校だより10月号  
河南町立近つ飛鳥小学校

## 近りんぴっくへ向けて

校長 鍵谷 直毅

2学期がスタートして約1か月、まだまだ、日中は暑い日もありますが、最近朝晩めっきり涼しくなり、秋の気配を感じられるようになりました。だんだんと過ごしやすくなっていくこの時期、子どもたちには、学習や学校行事などに、より一層力を注ぎ、充実した学校生活を送ってほしいと思います。

さて、今年は、オリンピックに続き、8月27日から12日間にわたり、パラリンピックが開催されました。各国の選手たちの活躍に心を揺さぶられ、勇気づけられた方も多いと思います。選手たちは、個々の障がいを乗り越え、高い目標に向かって努力を続けています。そして、自身の可能性を信じ、考え、工夫を重ねながら最高のパフォーマンスを発揮し、私たちに感動を与えてくれました。選手たちの競技する姿などを見ていると、挑戦することと努力することで人間の可能性がどんどん広がり、限界がなくなっていくように感じました。

本校では、10月13日(日)に近りんぴっく(運動会)を開催予定で、それに向けて、9月24日(火)より本格的な練習が始まっています。子どもたちには、自分の力や目標に合わせて、挑戦し、努力すること、さらには、考え工夫することで一人ひとりが成長し、自身の可能性をどんどん広げて欲しいと思います。また、子どもたちが、仲間とともに最高の近りんぴっくをつくり上げることでより一層繋がりを深めてほしいと思います。

※今年度、近りんぴっくでの保護者の皆様の観覧方法を例年より変更しています。詳細については、先日配布しました案内をご確認ください。また、当日は、子どもたちの演技や競技に温かいご声援をよろしくお願いいたします。

※裏面に、令和6年度の全国学力・学習状況調査について、本校の考察を掲載しております。

## 令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果より

今年度の全国学力・学習状況調査は、4月18日(木)に6年生を対象に、国語、算数の2教科とアンケート形式の児童質問紙で実施されました。児童質問紙は主に家庭での生活の様子、学校や家庭での学習状況、子どもたちの考えや感じていること等を問う調査です。以下に、本校の今年度の調査結果の考察を掲載します。

まず、本校の調査結果を教科ごとに全体の平均正答率で見ると、本校の結果は、国語および算数ともに大阪府および全国の平均正答率を下回る結果となりました。

続いて、各教科および児童質問紙それぞれの結果についてです。

### 【国語に関して】

本校の結果を評価の観点別に見てみると、「知識・技能」に関する観点では、大阪府および全国の正答率を上回り、「思考・判断・表現」に関する観点では、大阪府および全国の正答率を下回る結果となりました。設問別では、「知識・技能」に関する設問で、正答率が大阪府および全国の正答率を上回る設問が多くあり、「知識・技能」については、一定の定着が窺えますが、「思考・判断・表現」に関する設問では、大阪府および全国の正答率を上回る設問が少なく、課題の残る結果となりました。

今後は、より一層、知識・技能の定着を図るとともに、それらをもとに思考・判断・表現に関する力をつけていくことを意識した指導方法を実践していきたいと思えます。

### 【算数に関して】

本校の結果は、領域別(「数と計算」・「図形」・「変化と関係」・「データの活用」)に見た結果および評価の観点別(「知識・技能」・「思考・判断・表現」)で見た結果すべてで、大阪府および全国の正答率を下回る結果となりました。設問別では、大阪府および全国の正答率を上回ったり、大阪府および全国の正答率に迫る設問もありましたが、大阪府および全国の正答率を下回る設問が多く、課題の残る結果となりました。今後は、より一層「知識・技能」の定着を図り、それらをもとに「思考・判断・表現」に関する力の向上に繋がる指導方法を実践していきたいと思えます。

### 【児童質問紙に関して】

児童質問紙の結果より、本校の児童は

- ・自分にはよいところがあると思えますか
- ・学校に行くのは楽しいと思えますか
- ・友達関係に満足していますか

などの質問項目に対して肯定的な回答の割合が大阪府および全国に比べて低く、本校の課題が窺えます。一方で、

- ・5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか
- ・5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいましたか
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思えますか

などの質問項目に対して肯定的な回答の割合が大阪府および全国に比べて高く、子どもたちが自主的に学習に取り組み、日ごろから考え、工夫している様子や仲間を大切にしている気持ちが育っている様子が窺えます。今後も、成功体験を積み重ねることなどで子どもたちの自己肯定感が高まり、より一層繋がりが深まるような取り組みを取り入れ、充実した学校生活のなかで、子どもたちの健やかな成長を促していきたいと思えます。